

- 問1 2019年の日本の木材輸入先上位には、カナダ、アメリカ、ロシア、フィンランドといった国々が並んでいます。これらの国々に共通する気候的な特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 季節風の影響を強く受け、夏に降水量が多いため樹木の成長が非常に早い。
 2. 一年中降水量が極めて少なく、樹木が育たないため輸入に頼っている。
 3. 一年を通じて高温多湿であり、多種多様な広葉樹が自生している。
 4. 大陸北部にタイガと呼ばれる広大な針葉樹林があり、建材に適した木材が豊富である。
- 問2 世界のエネルギー消費に関する傾向を説明した文として、北アメリカとアフリカの状況を比較した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. エネルギー資源を豊富に算出する地域ほど、その地域内での一人当たりのエネルギー消費量が多くなるため、アフリカの方が北アメリカより数値が高い。
 2. エネルギー消費の効率化が進んでいる北アメリカなどの先進地域では、アフリカなどの発展途上地域よりも一人当たりの消費量が少なくっている。
 3. 一般に産業化が進んだ地域ほど生活水準が高く、生産活動も盛んなため、一人当たりのエネルギー消費量は多くなる傾向がある。
 4. 人口が急増しているアフリカなどの地域は、社会全体のエネルギー総消費量とともに、一人当たりの消費量も北アメリカを上回っている。
- 問3 ある都市の気象データにおいて、最も気温が高い月でも約18度と涼しく、最も低い月でも約5度と比較的温暖であり、さらに毎月の降水量が50mmから80mm程度でほぼ一定している場合、この気候区分として適切な名称はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. ツンドラ気候
 2. 地中海性気候
 3. 温暖湿潤気候
 4. 西岸海洋性気候
- 問4 世界の諸地域における人々の生活と自然環境との関わりについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 南アジアのインドでは、ヒンドゥー教の聖なる川とされるガンジス川で、身を清めるために沐浴を行う文化が根付いている。
 2. 高緯度にあるノルウェーでは、一年中気温が高く乾燥しているため、アルパカの毛を織り交ぜた通気性の良い服が日常的に着られている。
 3. 南アメリカのペルーでは、アンデス山脈の温暖な平野部を活かし、綿花の栽培とアルパカの毛を用いた薄手の衣類づくりが盛んである。
 4. 北ヨーロッパのノルウェーは低緯度に位置しているため、冬の時期に太陽が全く沈まない白夜という現象が見られる。
- 問5 世界の諸都市の気候を比較した際、1月と7月の平均気温の差（年較差）は比較的小さいものの、降水量のデータを見ると特定の時期に極端に雨が強く、別の時期にはほとんど雨が降らないという明確な差が見られる都市があります。このような降水パターンの変化をもたらす主な要因は何ですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
1. 暖流の影響により、周辺の海域から常に大量の水蒸気が蒸発し続けているため。
 2. 季節によって吹く方向が変化し、湿った空気や乾いた空気を運ぶ季節風（モンスーン）の影響。
 3. 高緯度地域において、一年中冷涼な空気が大陸から流れ込み続けるため。
 4. 偏西風が一年中安定して吹き込み、海からの湿った空気を絶やさず供給しているため。
- 問6 北アメリカ北部の高緯度地域において、年平均気温が約10度と低く、冬の気温が氷点下まで下がるという気候条件が生じる主な理由と、人々の生活への影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 標高が極めて高い山岳地帯であるため空気が薄く、酸素ボンベを携帯して移動することが一般的である。
 2. 高緯度で太陽の光を受ける角度が低いため冬の寒さが厳しくなり、住宅には高度な断熱材や暖房設備が必要となる。
 3. 大陸の西側に位置し、寒流の影響で夏に気温が上がらないため、一年中厚手の毛皮を着て生活している。
 4. 赤道に近く上昇気流が発生しやすいため年間を通じて雨が多くなり、高床式の住居が普及している。
- 問7 ユーロッパ連合（EU）の加盟国では、域内での人口移動が活発であるほか、かつて植民地だった北アフリカなどの地域から多くの人々が移り住んでいます。これに伴い、ヨーロッパ国内でも存在感を増している「聖地メッカへ向けた礼拝」や「豚肉の摂食禁止」といった文化を持つ宗教を何と呼びますか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. イスラム教
 2. 仏教
 3. ヒンドゥー教
 4. キリスト教
- 問8 日本の首都の気候データを読み取ると、1月の平均気温は約5℃、8月は約28℃を示し、降水量は6月と9月にピークを迎え、年間降水量は約1500mm程度となります。この気候が属する区分として正しい名称を選びなさい。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 地中海性気候
 2. 熱帯雨林気候
 3. 温暖湿潤気候
 4. 西岸海洋性気候
- 問9 ロンドンは北緯50度を超える高緯度に位置していますが、月平均気温の最低が約5℃、最高が約23℃となっており、緯度のわりに冬季の寒さが穏やかです。このような気候が形成される背景として、大西洋を流れる暖流と、その上空を一年中吹いている風の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. メキシコ湾流と貿易風
 2. 日本海流（黒潮）と偏西風
 3. 北大西洋海流と季節風
 4. 北大西洋海流と偏西風
- 問10 南アジアや東南アジアにおいて、夏の時期に海洋から吹き込む季節風は、人々の生活や産業にどのような影響を与えていますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 高緯度からの寒気を運ぶため、夏の冷害を防ぐための施設園芸が盛んである。
 2. 一年中安定した強風をもたらすため、風力発電による工業化が進んでいる。
 3. 乾燥した空気が運ばれて乾季となり、大規模な小麦の栽培が行われている。
 4. 湿った空気が運ばれて雨季となり、豊富な降水量が稲作（米作り）を支えている。
- 問11 東南アジアのチャオプラヤ川流域などの平野部では、豊かな水資源と高温な気候を背景に、効率的な農業が行われています。この地域で多く見られる「二期作」の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 一年を通して気温が高いため、同じ耕地で一年に二回、米などの同じ作物を栽培すること
 2. ビニールハウスなどの施設を利用し、作物の成長を早めて出荷時期をずらすこと
 3. 夏に米を育て、冬には小麦などの異なる作物を同じ耕地で栽培すること
 4. 土地の肥沃さを保つために、同じ土地で年ごとに育てる作物の種類を順番に変えること
- 問12 チュニスなどの地中海沿岸地域では、夏は高温で乾燥し、冬にまとまった雨が降る気候特性が見られます。この「夏季乾燥」という気候条件を活かして、この地域で古くから盛んに行われてきた農業の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 短い夏にのみ成長するライ麦やじゃがいもを栽培する農業
 2. 夏の豊富な雨を利用して稲作を大規模に行う農業
 3. 乾燥に強いオリーブやぶどうなどの樹木作物を栽培する農業
 4. 年間を通じて多雨な環境を利用して天然ゴムを採取する農業

答え合わせ・解説

問1	答え 4 大陸北部にタイガと呼ばれる広大な針葉樹林があり、建材に適した木材が豊富である。	日本の主要な木材輸入先であるカナダやロシアなどは、いずれも亜寒帯（冷帯）に属する広大な国土を持っています。この気候帯に広がる針葉樹林は、樹種が単純でまとまった伐採がしやすく、建築用材やパルプの原料として利用価値が高いため、世界的な木材供給源となっています。
問2	答え 3 一般に産業化が進んだ地域ほど生活水準が高く、生産活動も盛んなため、一人当たりのエネルギー消費量は多くなる傾向がある。	エネルギーの消費量は、単なる人口の多寡ではなく、その地域の経済発展の度合いや産業構造と密接に関わっています。2017年の統計でも、工業化が進み、自動車や電化製品が広く普及している北アメリカやヨーロッパにおいて、一人当たりのエネルギー消費量が高い値を示しています。対照的に、開発の途上にあるアフリカなどの地域では、人口一人当たりで換算すると消費量は依然として低い水準にあり、地域間の経済的な格差がエネルギー消費の差となって現れています。
問3	答え 4 西岸海洋性気候	夏が涼しく冬が温暖で、年間の気温差（年較差）が小さいこと、そして一年を通じて降水量の差が小さく安定していることは、西岸海洋性気候の典型的な特徴です。地中海性気候のように夏に乾燥したり、温暖湿潤気候のように夏に高温多湿になったりすることはありません。
問4	答え 1 南アジアのインドでは、ヒンドゥー教の聖なる川とされるガンジス川で、身を清めるために沐浴を行う文化が根付いている。	インドを流れるガンジス川はヒンドゥー教において神聖な川とされており、多くの人々が川の水で心身を清める「沐浴」を行います。ノルウェーで「白夜」が見られるのは、低緯度ではなく高緯度に位置しているからであり、時期も冬ではなく夏です。また、ペルーのアンデス山脈は標高が高く寒冷な気候であるため、寒さに耐えるためにアルパカの毛が衣類に利用されており、これらは各地の地理的条件や宗教的背景と密接に結びついています。
問5	答え 2 季節によって吹く方向が変化し、湿った空気や乾いた空気を運ぶ季節風（モンスーン）の影響。	平均気温の年較差よりも降水量の季節変化が激しい地域、特に東南アジアや南アジアなどでは、季節風（モンスーン）が気候に大きな影響を与えています。夏には海から陸へ向かって湿った風が吹くため降水量が増え、冬には陸から海へ向かって乾いた風が吹くため乾燥するという、明瞭な雨季と乾季のサイクルが生まれます。
問6	答え 2 高緯度で太陽の光を受ける角度が低いため冬の寒さが厳しくなり、住宅には高度な断熱材や暖房設備が必要となる。	高緯度地域では、低緯度地域に比べて太陽光が斜めに差し込むため、単位面積あたりに受けるエネルギーが少なくなります。これにより冬の気温がマイナス10度近くまで下がる過酷な環境となるため、カナダなどの地域では室内を効率よく暖めるセントラルヒーティングや、熱を逃がさないための住宅構造が発達しています。
問7	答え 1 イスラム教	ヨーロッパ諸国、特にフランスやドイツなどでは、歴史的なつながりや労働力の確保を背景に、北アフリカや西アジアからの移民を多く受け入れてきました。その結果、それらの地域で主流となっているイスラム教の文化が、伝統的なキリスト教文化と並んでヨーロッパ社会に根付いています。イスラム教徒は特定の宗教的ルール（ハラール）に従った食事を摂るため、豚肉を口にしないといった生活習慣が尊重される場面も増えています。
問8	答え 3 温暖湿潤気候	東京を含む日本の本州、四国、九州の大部分は、四季の変化が明瞭で、夏に高温多湿となり雨が多く降る温暖湿潤気候に属しています。選択肢にある西岸海洋性気候や地中海性気候は、主にヨーロッパなどで見られる気候区分であり、日本の気候とは降水パターンなどが異なります。
問9	答え 4 北大西洋海流と偏西風	ヨーロッパ西岸の気候には、低緯度から北上してくる暖流である北大西洋海流が大きく影響しています。この暖流によって温められた空気の湿気と熱が、一年中西から吹き続ける偏西風によって陸地へと運ばれるため、高緯度であっても冬の寒さが和らぎ、安定した降水量がもたらされる仕組みになっています。
問10	答え 4 湿った空気が運ばれて雨季となり、豊富な降水量が稲作（米作り）を支えている。	アジアの多くの地域では、夏の季節風が海洋から湿った空気を運んでくることで雨季が訪れます。この時期の豊富な降水は、大量の水を必要とする稲作に適しており、アジアが世界最大の米の生産地となる要因の一つとなっています。
問11	答え 1 一年を通して気温が高いため、同じ耕地で一年に二回、米などの同じ作物を栽培すること	二期作は、同じ作物を二回栽培できるだけの温暖な気候が条件となります。選択肢にある「異なる作物を栽培すること」は二毛作、「出荷時期をずらすこと」は促成栽培、「作物の種類を順番に変えること」は輪作（クロープ・ローテーション）の説明であり、それぞれの定義を正しく理解しておくことが重要です。
問12	答え 3 乾燥に強いオリーブやぶどうなどの樹木作物を栽培する農業	地中海性気候では夏に雨が極端に少なくなるため、乾燥に強い作物の栽培が適しています。オリーブは葉から水分が逃げにくい構造を持っており、ぶどうは深く根を張ることで水分を吸収するため、この地域の代表的な農産物となっています。これらは「地中海式農業」の大きな特徴であり、冬の降水を利用した小麦栽培と組み合わせで行われます。